

春キャベツ（4月～6月）の需給見通し

1 生産出荷状況

(1) 供給計画

平成 21 年の春キャベツの供給計画によると、全農が 9 月に策定した当初計画では、作付面積は増を見込み対前年 103%（系統共販分）、10 アール当たりの収量も増を見込み、収穫量 108%、出荷量を 109%としたところである。確定計画は 3 月末策定により現在未発表。

○当初計画

作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比
3,619	3,527	103	4,475	4,263	105	161,949	150,341	108	140,053	128,690	109

(2) 天候

- ① 主産地の千葉県の前年平均気温は、12 月は前年を上回って推移し、年末から 1 月半ばまでは前年を下回って推移した。その後は前年を大きく上回って推移している。日照時間については、12 月は前並みで推移し、年末から 1 月半ばまでは前年を上回って推移したが、その後は前年を下回って推移している。降水量は、12 月中旬までは前年を上回って推移したが、下旬から 1 月下旬まではほとんどゼロに無かった。1 月下旬に前年を大きく上回る推移となったが、2 月は半ばまではほとんどゼロに近い推移で、その後は前年を上回る推移となっている。

② 同じく主産地の神奈川県の前年平均気温は、12月は前年を上回って推移し、年末から1月半ばまでは前年を下回って推移した。その後は前年を大きく上回って推移している。日照時間については、12月は前並みで推移し、年末から1月半ばまでは前年を上回って推移したが、その後は前年を下回って推移している。降水量は、12月中旬までは前年を上回って推移したが、下旬から1月半ばまではほとんどゼロに無かった。1月下旬に前年を大きく上回る推移となったが、2月半ばまではほとんどゼロに近い推移で、その後は前年を上回る推移となっている。

(3) 生育・出荷状況及び今後の見通し

- ① 昨年の価格は平年をやや下回り、作付け意欲に対してはマイナスに働くと考えられる。
- ② 供給計画の当初計画では収穫量は対前年比 108%であり、出荷量は対前年比 109%である。
- ③ これまでのところ主産地では天候は良好であり生育は順調である。
- ④ 3 か月予報では主産地がある関東地方の 3~5 月期の平均気温が高い確率は 50%であり、前年を上回る出荷が予想される。

資料：農林水産省統計情報部「青果物日別取扱高統計結果」

2 需要動向

(1) 家計消費

家計調査によるキャベツの一人当たり購入数量をみると、4月から5月にかけて購入量が増加する時期となっている。

(2) 加工・業務用需要

キャベツの加工・業務用需要は、全体需要の48%と推定されている。

キャベツの加工・業務用需要の動向

平成2年	平成12年	平成17年
46%	48%	48%

資料：農林水産政策研究所調べ

3 参考

春キャベツの過去における市場隔離等の実施状況

年度	実施時期	実施数量(t)
S55		
56	5月中、下旬	315
57	5月上旬	150
58	4月中旬～6月上旬	429
59	4月上旬～6月中旬	8,378
60		
61	5月下旬	272
62		
63		
H元		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12	5月下旬	219
13	5月中旬	127
14	4月中旬	600
15		
16		
17	6月中、下旬	3,499
18		
19		